

# 近代日本の倫理思想

## 主従道德と国家

高橋文博 著

2012年10月刊行

A5判・332頁／定価5,775円(税込) ISBN978-4-7842-1656-7

近代日本における倫理思想の特質とは何か——。本書は、西村茂樹・福沢諭吉・阿部次郎・安倍能成・和辻哲郎ら近代日本の思想家や、修身教科書を取り上げて考察した論文を集成。前近代よりもち越され、主張され続けた主従道德の存在に着目し、倫理思想における日本の近代と近代以後のもつ意味を考える一書。

### 内容目次

#### I 近代の立ち上げ——知識人たち

- 第一章 明治十年代の道德教育  
——修身教科書を中心に——
- 第二章 徳育論争における福澤諭吉
- 第三章 道德教育における主従関係の近代
- 第四章 近代日本における経済と倫理
- 第五章 阿部次郎の社会思想  
——『三太郎の日記』を中心に——
- 第六章 安倍成と平和論

#### II 近代の語り直し——和辻哲郎

- 第一章 アジアの中の日本
- 第二章 自然のあり方は「人間の有り方」
- 第三章 天皇・武士・民衆  
——和辻哲郎における日本倫理思想史の構図——

#### 第四章 和辻哲郎における敗戦

#### 第五章 和辻哲郎の戦後思想

#### III 西村茂樹文献解題

- 一 『泊翁卮言』
- 二 『往事録』
- 三 『校正萬國史略』
- 四 『輿地誌略』
- 五 『求諸己齋講義』
- 六 『檀寧氏道德學』
- 七 『理學問答』
- 八 『希穀氏人心學』
- 九 『可吉士氏心象學摘譯』

たかはし・ふみひろ... 1948年、群馬県生。東京大学文学部卒、東京大学大学院人文科学研究科博士課程（倫理学）単位取得中途退学。博士（人文科学、お茶の水女子大学）。岡山大学大学院社会文化科学研究科教授。主要著書に『近世の心身論』（ぺりかん社、1990年）、『吉田松陰』（清水書院、1998年）、『近世の死生観』（ぺりかん社、2006年）など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近代日本の倫理思想 主従道德と国家		本体5,500円(税別) ISBN978-4-7842-1656-7	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）			本書HPのQRコード	書店番線印

**西村茂樹研究 明治啓蒙思想と国民道徳論**

真辺将之著

明治の啓蒙思想家・道徳運動家である西村茂樹の思想について、従来の「保守」と「進歩」という二項対立的な枠組みから脱却し、時代状況に応じた問題意識の変遷と主張の展開を、史料に基づいて跡づけることにより明らかにする。

▶A5判・500頁／定価8,190円 ISBN978-4-7842-1491-4

**象徴天皇制の形成と定着**

富永望著

「象徴天皇(制)」という言葉に着目して、この用語の使用法を検証し、さらに吉田茂の憲法運用と、それに異を唱える政治勢力や憲法学者の天皇観を明らかにすることで、象徴天皇制は新憲法の運用の積み重ねによって形成されたことを実証する、気鋭の書。

▶A5判・316頁／定価5,040円 ISBN978-4-7842-1492-1

**明治期における不敬事件の研究**

小股憲明著

天皇を中心とする明治政府の誕生以来、数多く発生しながら体系的な研究がされてこなかった不敬事件を、明治期について網羅。豊富な実例を整理・検討することによって明治国家の特質を考察し、天皇制と教育の関係、ひいては天皇制と近代日本および国民の関係を明らかにしようとする大著。

▶B5判・576頁／定価13,650円 ISBN978-4-7842-1501-0

**韓国「併合」前後の教育政策と日本**

本間千景著

佛敎大学研究叢書8

第二次日韓協約から第一次朝鮮教育令発布後の期間に着目し、当該期の修身教科書への影響や教員の養成・日本人教員の配置など、現地における学校教育をとりあつかう。日本の関与に対して朝鮮民衆の様々な対応と抵抗が展開され、その結果日本側の植民地教育政策がどのような変容を迫られたのかを、多彩な史料に基づき明かす。

▶A5判・304頁／定価5,880円 ISBN978-4-7842-1510-2

**※知の伝達メディアの歴史研究 教育史像の再構築 辻本雅史編**

本書では、「教育」を「知の伝達」ととらえ直し、その伝達のための媒体を「メディア」と規定することで、これまでのような、学校を中心とした教育史像ではなく、学校を含みながらも、学校を越えたところでなされる人間形成の営みを、全体としてとらえなおす視点を提示。

▶A5判・300頁／定価5,985円 ISBN978-4-7842-1500-3

**同志社女学校史の研究**

宮澤正典著

現在の同志社女子大学・同志社女子中学校・高等学校の前身である「同志社女学校」。その1877(明治10)年創設から1945(昭和20)年までについて、新渡戸稲造など文化史・思想上の巨人たちを生み出した。その類いまれな光芒を放つ草創期の札幌農学校の教育制度、お雇い教師、所蔵英書、出身の英学者たちに焦点をおき、その特異な存在と役割を明らかにする。

▶A5判・374頁／定価2,940円 ISBN978-4-7842-1574-4

**札幌農学校と英語教育**

外山敏雄著

1876年開設の札幌農学校は、北海道開拓の人材養成のみならず、内村鑑三・新渡戸稲造など文化史・思想上の巨人たちを生み出した。その類いまれな光芒を放つ草創期の札幌農学校の教育制度、お雇い教師、所蔵英書、出身の英学者たちに焦点をおき、その特異な存在と役割を明らかにする。

▶A5判・168頁／定価3,990円 ISBN4-7842-0691-4

**幕末維新期の陵墓と社会**

上田長生著

畿内に広く散在する陵墓(天皇・皇族の墓)は、幕末維新期の政治変動を受け、大きくその性格を変えていく。陵墓に政治的意味を付与し、祭祀を行おうとする政治権力(朝廷・山陵奉行)と在地社会の軋轢・葛藤が最も明確に現れた陵墓管理・祭祀に注目する。

▶A5判・400頁／定価6,510円 ISBN978-4-7842-1604-8

**増補・改訂 西村茂樹全集 【全12巻・既刊11冊】**

古川哲史監修・日本弘道会編

西村の学問的な業績を中心に構成し、これまで未発表の論説や『日本道徳論』の初版本など思想的にも貴重な著書が初めて公刊される。

▶A5判・平均900頁／既刊揃定価204,750円  
第1・2・4巻各17,850円 第3巻19,425円 第5・6・8・9・11巻各18,900円  
第7巻19,950円 第10巻17,325円**森有礼における国民的主体の創出**

長谷川精一著

初代文部大臣としても知られる森有礼は、大日本帝国憲法発布式典の当日に刺客の凶刃に倒れた。本書は彼の言説ややってきた政策の目的が、日本国民の主体の創出にあったという視点から、これまで先行研究の大半が十分に検討してこなかった外国語の史料や文献をも利用し、さまざまな角度から検討を加えた画期的な一書。

▶A5判・466頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1367-2

**近代日本高等教育体制の黎明**

田中智子著

交錯する地域と国とキリスト教界

医学、洋学一般を教育する場がいかに設置・運営されてきたか。主に1870年代初頭から1890年代初頭までを対象とし、各地域の高等教育体制の展開過程を、府県という地域行政主体、文部省という国の行政主体、伝道を志すキリスト教界、という三勢力の交錯のうちに描く。高等教育史を府県・国・民間勢力の相互関係史として再構成する。

▶A5判・448頁／定価7,350円 ISBN978-4-7842-1618-5

**※増補 郷土教育運動の研究**

伊藤純郎著

長らく品切れだった旧版に1章を加えて再版。昭和恐慌が深刻化し、郷土の立て直しをはかる自力更生が叫ばれていた1930年代に展開された郷土教育運動の歴史的意義を柳田国男の郷土研究論と関連させながら運動を推進した文部省、文部省とは異論を唱える郷土教育連盟、実際にそれをおこなう地域社会の反応を通じて、実証的に解明する。

▶A5判・口絵2頁・504頁／定価10,290円 ISBN978-4-7842-1402-0

**三高の見果てぬ夢 中等・高等教育成立過程と折田彦市 巖平著**

京都大学大学文書館所蔵「第三高等学校関係資料」等を駆使し、当時の「中学校」の教育機能を考察。その前身校以来、長く三高校長職にあった折田彦市に注目することで、高等中学校がいかなる理由で設けられたのかという、日本近代教育史研究の大きな欠落を埋める一書。

▶A5判・352頁／定価7,875円 ISBN978-4-7842-1399-3

**William Smith Clarkの教育思想の研究**

小枝弘和著

札幌農学校の自由教育の系譜

アメリカに存在するクラーク関連資料や、手紙や草稿類などの活字化されていない資料をも十分に活用し、幼少期にさかのぼって彼が過ごしてきた環境をできるだけ明らかにすることで、その教育思想や実践の特質の主要因を究明する。

▶A5判・380頁／定価3,150円 ISBN978-4-7842-1561-4

**岡倉天心の比較文化的研究 ポストンでの活動と芸術思想**

清水恵美子著

明治時代に美術分野で活躍した思想家、岡倉覚三(天心、1863~1913)の、特にそのポストンでの活動に焦点をあてて考察。著者がアメリカで行った文献資料調査により発見した新出資料などを駆使し、同時代の文化的状況、美術、演劇、音楽の動向など複眼的な視座からのアプローチを通して、より立体的な解釈を試みる。

▶A5判・548頁／定価11,235円 ISBN978-4-7842-1605-5

**光芒の大正 川内まごころ文学館蔵 山本實彦関係書簡集**

改造社関係資料研究会編

川内まごころ文学館所蔵の山本實彦または改造社宛に届いた書簡のうち、『改造』が最も華々しく光り輝いた大正8(1919)年から昭和5(1930)年までの書簡を詳細な解説とともに活字化。収録書簡132通、差出人82名の内訳は小説家が最も多く、学者、思想家、社会運動家など。

▶A5判・口絵8、本文282頁／定価5,250円 ISBN978-4-7842-1459-4

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。